

令和元年度 横浜市市民活動支援センター自主事業の事業計画について

(アクションポート横浜)

1 趣旨

横浜市市民活動支援センター自主事業については、第3期第10回市民協働推進委員会において「条件付き事業継続」の意見を受け、実施団体と令和元年度の事業取組内容や継続の条件等について調整を図りましたのでご報告します。

2 令和元年度助成金額について

「事業評価報告書」の評価基準の内容を踏まえ、令和元年度の助成金交付額を90万円（予算額180万円）とします。

3 継続の条件について

(1) 事業成果を形にすること

事業2年目で完成する予定だった ハンドブック作成、育成プログラム開発を、事業終了までに確実に完成させること。

また、ハンドブックやプログラムについては、他の団体の参考となり、十分に活用できる内容とすること。

ただし、事業終了後に成果が認められない場合は、助成金の一部または全額を返還すること。

4 見直し後の事業計画について

実施団体名	特定非営利活動法人 アクションポート横浜	
提案事業名	地域の若手職員のキャリアを考え、みんなで育つネットワークづくり	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度の議論やワークをベースに「かばんもちプログラム」をブラッシュアップするなど、<u>団体横断的な育成プログラムの実践を行う。</u> ●プログラムや昨年度の活動から得られたものを <u>1冊のハンドブックとしてまとめる。</u> NPO や人材育成の専門家の協力も得ながら、市内各所で配布する（2,000部作成予定）。 ●ハンドブック作成後に発表のための交流会を行い、「NPOの人材育成」について議論する場を設け、<u>団体同士のネットワークを広げる。</u> ●事業で得たノウハウや実績を、<u>他の団体や市民活動支援センター利用団体と共有する。</u> 	
収支予算案	事業費総額	1,210,000円
	収入	補助金900,000円、団体負担200,000円、参加費・資料代・販売費110,000円
	支出	人件費850,000円、事務局交通費40,000円、交流会20,000円、ハンドブック作成関連費290,000円、消耗品費等10,000円